

適応問題の検討の必要性について

(背景)

●適応は気候変動問題への主要な対応策の一つ

適応は、緩和を補完する主要な気候変動対策の一つであり、条約や議定書にも適応に関する規定があるが、国際交渉の場面では、これまでは緩和が重視されてきており、適応にかかる議論は必ずしも十分に進展してこなかった。

●適応は主要課題となりつつある

他方、適応は、多くの途上国にとって、かねてより主要関心事の一つであった。COP10では、途上国への資金支援や人材育成支援に加え、「5カ年作業計画」の策定について決議された（適応策と対応措置に関するブエノスアイレス作業計画）。現在は、5ヶ年作業計画^(注)をCOP11で策定すべく、10月にワークショップが開催されるなど、検討が進められることとなっている。

また、次期枠組みにおいても、適応を明確に位置づけることが必要との意見も国際的になされるようになってきている。

(注) 適応に関する5ヶ年作業計画

適応について、より一層の具体的な行動を進めていくために、まずはどのような知見が既に存在し、どのような知見が不足しているかを明らかにし、その不足を解消していくための作業手順等が規定される見込み。

主要要素は①方法論・データ・モデリング、②脆弱性評価、③適応計画、④持続可能な開発への統合であり、それぞれどのように作業をしていくのかを定める。

●適応問題への適切な対処にはまず専門的な観点からの検討が必須

したがって、我が国としても、今後の適応問題に関する国際的な議論や行動に的確に貢献していく必要がある。しかしながら、適応については、科学的な知見の観点でも、あるいは、概念整理などの点でも、未だ十分に議論が尽くされてはいない。このため、現時点では、まず専門的観点から、適応問題を巡る論点を整理する。

(議論の進め方)

以上のような背景に鑑み、本専門委員会において、計 3 回程度、適応問題について議論をいただくこととしたい。

現段階での今後の検討スケジュール等は以下のとおり。

10月3日 (再開後) 第1回専門委員会

- ・ 適応問題を考える上で、重要な基礎情報となる、異常気象にかかる現状について、科学的観点から議論・整理をいただく。
- ・ 併せて、国際的な議論の動向についても整理する。

(10月17-19日 5カ年作業計画策定のための非公式ワークショップ)

- ・ 5カ年作業計画策定にむけて非公式にテキスト交渉が行われる。

(11月28日-12月9日 COP11 及び COP/MOP1)

- ・ 5カ年作業計画の策定が予定されている。
- ・ 併せて、将来枠組みにかかる議論においても、適応の問題が取りあげられる可能性もある。

1月頃 第2回専門委員会

- ・ COP11 及び COP/MOP1 の結果を踏まえ、今後我が国が適応問題に関して取り組むべき課題について議論をいただく

3月頃 第3回専門委員会

- ・ 必要に応じ、第2回に引き続き、取り組むべき課題について議論をいただく。(結果は、今後の国際交渉、具体的なプロジェクトの形成等に反映させる)

(参 考) 5ヶ年作業計画について

<2004年12月 COP10>

適応策と対応措置に関するブエノスアイレス作業計画 (COP10 決定 1) より :

IV. 科学的・技術的助言のための補助機関による影響・脆弱性・適応に関する
作業計画

IV. Subsidiary Body for Scientific and Technological Advice programme of
work on impacts, vulnerability and adaptation to climate change

- 科学的・技術的助言のための補助機関が、影響・脆弱性・適応の科学的・
技術的・社会経済的側面に関する5ヶ年計画を策定し、以下の問題：
 - ・手法・データ・モデリング
 - ・脆弱性評価
 - ・適応計画・措置・行動
 - ・持続可能な開発への統合 (条約第9条に基づく科学的・技術的助言のため
の補助機関への委任事項に沿う範囲で)を扱うことを要請し、

- 科学的・技術的助言のための補助機関の第22回会合 (2005年5月) にお
いて、同機関議長の指導の下、上記項における計画の策定を促進するため、
事務局がセッション内ワークショップを開催することを要請し、

- 科学的・技術的助言のための補助機関の第22回会合 (2005年5月) での
検討促進のため2005年3月31日までに締約国が作業計画についての見解を
事務局に提出することを歓迎する。

※ 2005年5月のSBSTA22では、COP11での採択を視野に、5ヶ年作業計画
に関する draft decision を SBSTA23 に送った。(FCCC/SBSTA/2005/L.14)